

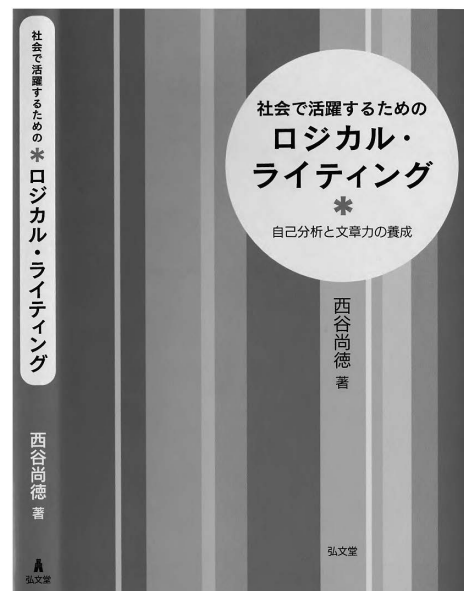
<会員による自著紹介>

社会で活躍するためのロジカル・ライティング —自己分析と文章力の養成—

西谷尚徳

立正大学

弘文堂 (2016年発行)
定価 2,052円 (税込)



本書の目的は、初年次教育に限らず、学生が大学4年間で自分の表現力を見つめ直し、自己分析を通して文章作成能力を高めることです。本書は、作文の書き方、レポート作成のポイント、小論文や就職を見据えたエントリーシートの注意点など、大学生活において関わる文章表現のすべてをワーク形式で学べるため、授業やゼミなどでの活用も可能です。文章と向き合うことがはじめての大学生でも刺激となる要素を多く取り入れました。

第1章は大学在学中や就職してからも役立つ作文、第2章は減点を省くためのレポート作成、第3章は就職時のES作成、第4章は論理的思考力を用いた小論文作成、の全4章構成です。各章多くの課題や実例を盛り込み、論理的な文章を作成するためのポイントに加え、自己分析をしながら読み手を意識した文章表現を習得できます。本書執筆にあたり、初年次教育で学生の文章表現力をどのように養成させるか、という問題をアカデミック・スキル習得とキャリア教育の視点から切り込むように意識しました。

筆者は、初年次の学生を中心に年間800人以上の文章を添削しています。初年次教育において学生の文章表現力を養成することは、いまやどの大学でも重要課題と言えます。学生にとって学びの礎とも言えるべき文章表現力は、成績評価につながるだけでなく、就職活動時や社会人になってからもコミュニケーション能力としての役割を果たすことになるでしょう。